

# 学校だより

# 翔 空

No.32 平成23年12月13日(火)  
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

## 「翔空」の由来

(校舎のシンボル) 壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

### 【みんなで口ずさもう!】

今回も百人一首を2つ紹介します。ぜひ、口ずさんでみてください。

【美しい女性を初めて見かけたとき、胸が高鳴り、うろたえる気持ちを表現した歌】

河原左大臣 作

陸奥(みちのく)の  
しのぶもちずり  
たれゆえに  
みだれ初めにし  
我ならなくに

(みちのくで作られる布「しのぶもちずり」の模様のように、私の心は乱れ始めています。だれのせいでしょうか。他ならぬ、あなたのせいですよ。)

【まだ雪が降る春の初めに、摘みたての若菜をだれかに送ったときにそえた歌】

光孝天皇 作

君がため  
春の野に出でて  
若菜つむ  
わが衣手に  
雪は降りつつ

(あなたのために、春の野に出かけて若菜をつむ私のそでは、雪が降りかかってきます。)

冬の訪れとともに、外に出る機会がどんどん減ってきます。「子どもは風の子元気な子」とはよく言ったものです。しかし、昨今の子どもたちは様変わりしています。外に出て遊んでいる子がめっきり少なくなりました。放射線のせいなのかも知れません。



## 「アンケート結果が物語るもの」

～保護者会の際に依頼した調査へのご協力に感謝いたします～

保護者アンケート結果 (平成23年12月9日集計) 調査期間: 12/2~12/8 (6日間)

★ 回収率 148/210 = 70.5% (ここ数年では、かなり高い数値です)

No.	アンケート内容	A 4点	B 3点	C 2点	D 1点	評価
1	お子さんは、楽しく学校に通っている。	76	60	8	4	3.4
3	学校は、学校での様子や情報を家庭へよく伝えている。	30	63	47	8	2.8
5	学校は心づくり、体づくり、頭づくりを計画的に進められている。	23	70	50	5	2.8
7	学校は、子どものことについて、適切に相談に応じてくれている。	37	72	33	6	3.0
8	学校は、子どもの将来の生き方や進路について指導している。	26	74	44	4	2.8
9	子どもは、積極的に学校行事に参加している。	80	54	11	3	3.4
10	子どもは、部活動に自主的に参加している。	101	34	10	3	3.6
11	子どもは、先生方の授業をわかりやすいといっている。	8	63	65	12	2.5
15	学校が保護者に出す通知やたより、事務連絡等は適切である。	44	72	26	6	3.1

○ 良い点 △ 提案・要望 ● 改善してほしい

※4.0が最高点

### 【1. 本校の良い点・特色についてご意見をください】

- きちんとあいさつする生徒が多い。
- 先生と生徒がコミュニケーションが良い。
- 生徒がとても素直で心の強い生徒も多い。
- 翔空祭などで子どもたちの一体感を感じる。
- 奉仕活動や自分たちがやらねばならない事を責任を持ってやる。
- 校舎内外がきれいに整っている。
- 生徒指導がきちんとしている。
- 多くの生徒が先生方に敬意を払っている。

### 【2. 提案や要望がありましたらご記入ください】

- △ もっとわかりやすい授業をしてほしい。
- △ 体育館への通路の屋根を設置してほしい。
- △ 放射線教育をもっと充実させてほしい。(放射線に対する意識化)

### 【3. 今後、改善を強く要望する点(気づいた点)をご記入ください】

- 他校に比べ授業の遅れがあると聞いている。しっかり教えるべき内容は教えてほしい。
- 子どもたちにやりがいや達成感をもっと味わわせてほしい。
- 各教科の授業改善をめざしてほしい。
- 各学年の学年だよりをもっと充実させ、学年からの情報発信がほしい。
- もっと生徒一人一人のことをしっかりと把握してほしい。
- 学校や学年の考えがしっかり保護者に伝わるような工夫をしてほしい。
- 人間関係の問題について、学校としてもっと公平に対処してほしい。
- 学校全体の学力アップをめざしたカリキュラムを作してほしい。
- 特に3年生について、進路が目前なのでしっかりと遅れている子などをフォローしてほしい。

上記の調査結果をご覧ください。紙面の関係でこれでも半分しか掲載しておりますが、たくさんのご意見やご提案がありました。学校としても真摯に受け止め、改善が図れるところから着手してまいりたいと考えています。ちなみに、保護者の皆様のご要望をまとめると次の3点に集約できるかと思えます。

- 1) 学力アップを図る。(授業の一層の充実)
- 2) 個に応じた指導を行う。(個々の生徒への支援態勢の工夫)
- 3) 情報提供を積極的に行う。(さらなる情報発信)

学校として、企画委員会や職員会議で貴重なデータとして利用し、よりよい学校づくりに役立てていきたいと思えます。

